



第六十二号



神道青年全国協議会創立六十五周年記念大会 於 明治記念館

愛媛県神道青年会

事務局 〒791-8063

愛媛県松山市神田町 1-7

三津 巖島神社内

TEL 089-951-1471

FAX 089-951-2220

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>

巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 清家 貞文



先ず以て、聖寿の万歳と皇室の弥栄を御祝い申し上げますと共に、各御社頭の御隆昌を御祈念致します。

また常日頃より愛媛県神道青年会に対しまして格別なる御理解御協力を戴いております事、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて私も会長職を仰せつかり、はや二年目を迎えることとなりました。就任一年目は不慣れではありましたが、諸行事緒会合に出来る限り多く出席することを心がけておりました。それにより各方面から当会に對して何を求められているのか、斯界の尖兵として何をすべきなのか、勉強をさせて

頂いたところでございます。

去る三月に神道青年全国協議会の中央研修会が北海道で開催され（別紙面報告あり）、その前年に四国地区で開催した時に全国から大勢ご参加頂き、その御礼も含めて四国から会員を引き連れて北海道へ向うきました。

お出迎えする北海道地区は広大な広さもさることながら、お出迎えした会員は百名以上、実に全会員の半数以上でありました。四国と風土が違うとはいえ、北海道の皆様とお話するにつけ、会員の意識の高さを感じて帰った次第です。

愛媛県も全国的には決して多い会員数ではありませんが、昨年開催した会員親睦交流会には初めて参加される会員もあり膝をつき合わせて懇親を深めました。本年は会員の皆様に「ためになること」「身につくこと」を考え、県内東予・中予・南予で祭式研修会を開催することに致しました。

平日は兼職でお忙しい方でもご参加出来るよう、土日の夕方開催とし、日頃疑問に感じていることや、自分の作法を見直したい機会にして頂きたく考えております。研修会といえれば平日の昼間が多くて、なかなか出席が叶わない会員にとっては朗報ではないでしょうか。

祭式は「こころ」を「かたち」にあらわす、と言われております。氏子崇敬者には神様との仲執り持ちとしての神職の「こころ」を伝えるには目に見える「かたち（作法）」を如何に整えるか、が課題であります。

祭式は独学では限界があります。それを見直し聞き直しする研修会。参加することにより氏子崇敬者との関係をより厚く、また御社頭の御繁栄につながるものと確信しております。

「老子」の中に「千里の道も一歩から」ということわざがあります。どんなに大きな仕事（神職）も身近なところ（祭式作法）から始め、少しずつ積み重ね、努力してゆくことが大切であります。会員の皆様の御参加を御待ちしております。

又、今年度から正式に四十歳までの女子神職の皆様にも御案内致します。同世代同士、共に斯界の更なる発展の為に進んで参りたいと考えております。

結びにあたり、当会に對しまして更なる御指導・御鞭撻を賜りますよう御願ひ申し上げます。御挨拶とさせていただきます。新年度も何卒宜しく御願ひ致します。

新年正式参拝 新年研修会・互礼会



【報告者】
愛媛県護國神社
権瀬宜 池田 丈志

一月二十四日、恒例となっている新年の正式参拝が愛媛護國神社にて執り行われました。清家貞文会長以下、八名の役員が大前を拝し、感謝の誠を捧げ、国の隆昌と世界の共存共栄を祈念いたしました。私は、祭員として奉仕させていただきました。



小川宮司様とともに

その後、場所を国際ホテル松山に移して開催された新年研修会では、当会OBであり、元会長でいらっしゃる十亀博行先生を講師としてお迎えし、「家訓づくりプログラム」が行われました。「皆さんの両親、双方の祖父母、曾祖父母の名前を記入してみてください。」

十亀先生は、開口一番そうおっしゃって、研修会がスタートしました。冒頭から半信半疑



でしたが、次第が進むにつれ、一同夢中で頭を抱え、悩み、笑い、発表をしていました。それらを踏まえ最後に、「先ほどまでのことを踏まえて家訓を作ってみましょう。無理に難しいものではなく、判りやすいもので結構ですよ。」



テンポ良く受講者と会話を交わす十亀博行先生



書き出した家訓を種類別に分類していく

とを知りました。日本にある創業二百年以上の会社は、三千社を超え、その九割以上に家訓、社訓があること、それらを受け継いでいくことにより、変わらぬものを護り続けているというお話には、日本の伝統文化の継承が脈々と続いていることに驚きと感謝を致しました。

神社には綱領といった形で社訓に準ずるものがありますが、先人から受け、次世代に継いでいくべく、日々の精進がいかに大切であるか、改めて感じた研修会でした。

また、その後の互礼会は、十亀庁長様をはじめ、多くの先生方、先輩方のご臨席を賜わり、盛大に行われました。めったにない機会のない先輩方や会員同士での懇親を深めることができ、充実した一日となりました。



十亀庁長様、柳原副庁長様を始め多くの先輩方に御臨席を賜った



声高らかに今年の決意表明をする清家会長

第十六回 慰問神楽



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
石鎚神社
権禰宜 山崎 浩司

梅の蕾がほころぶ季節、春の訪れを待ち遠しく感じられる時折、去る二月十八日、この度愛媛県松山市新立町にあるさくら幼稚園が、創立六十周年の慶賀を迎え、神道青年会十二名・巫女二名・伊豫神楽四名の計十八名にて慰問神楽のご奉仕させて頂きました。



後藤理事の紙芝居に子どもたちも夢中!?

同幼稚園の園長先生は、多賀神社宮司、堀司様です。当神道青年会の慰問神楽開催を快く承諾して頂き、今回の運びとなりました。当日はあいにくの曇天でしたが、梅の蕾も美しく、寒さの中澄み渡る風に満ち直っております。

さくら幼稚園は、昭和二十九年二月の創立以来、今般平成二十六年までの六十年間に亘り明日を担う子供達の



雅楽の音色に耳を傾けてくれた子どもたち

教育・環境・保育設備の充実に励まれつつ、地域貢献に従事されてこられました。また、慰問神楽の歴史を振り返ってみると、第一回目はここ「さくら幼稚園」での開催でした。十五年ぶりの開催に参加できたことにご神縁の

巡り合わせを感じました。

開催日、元気いっぱい園児達と保護者の皆様方に囲まれ、普段あまり目にする機会の無い雅楽・舞・神楽を鑑賞して頂きました。なかなか大人でも長く鑑賞するのは大変ですが、園児達は開演から約一時間半、騒ぐこともなく、静かに、そして一生懸命鑑賞してくれました。最初の演目である「天の岩戸」の紙芝居や越殿楽、浦安の舞と、興味深そうに聴いてくれたことに、こちらもちよ嬉しく思いました。当日鑑賞して頂いた園児のみならず、またご参加の方々も、少しでも日本古来の伝統文化に興味を持って頂き、日本人としての心を大切に



て頂ければ幸いです。

【式次第】

- 紙芝居 天の岩戸
- 神躰紐女之舞 (伊豫神楽)
- 浦安の舞
- 楽器紹介
- ふるさと
- 越殿楽
- 大蛇の舞 (伊豫神楽)
- 悠久の舞
- ひなまつり

最後になりますが、ご協力を頂きましたさくら幼稚園園長先生をはじめ諸先生方、ご遠方よりご奉仕頂きました伊予神楽の皆様方にこの場をお借りし改めて御礼申し上げます。



楽しんでくれたかな?

平成二十五年度
**神道青年全国協議会
 中央研修会（北海道）**



【報告者】
 伊豫豆比古命神社
 権禰宜 宇都宮 宗平

主題 国土と国体を守る

平成二十六年三月六日〜七日の二日間にわたり、北海道札幌市内のホテルにて平成二十五年度神道青年全国協議会中央研修会が開催され、当会からは十一名が参加しました。今回の研修会は北海道神道青年協議会が主管し、「国土と国体を守る」を主題に東海大学教授の山田吉彦氏、俳優の津川雅彦氏、ジャーナリスト・キャスターの大高未貴氏に講師を務めていただきました。



開会式で挨拶する南坊城光興会長



山田吉彦先生

第一講では山田教授が「日本の海を守る」と題した講義を行いました。山田教授は、昨今多発する尖閣諸島周辺での中国による挑発的行為の理由として、周辺海域に眠る天然ガス、レアメタル、ウランなどの海底資源や食料となる水産資源の存在を挙げました。そして日本は世界屈指の海洋大国であり、技術開発を進めれば資源大国にもなるとの事を示されました。また、解決策の一つとして海洋保護区域指定などの環境問題で強い場での話し合いを開くなどとして、一つ一つの島を守る事が大切だと主張されました。

第二講では津川氏が「日本の誇り」と題し講義を行いました。津川氏は東日本大震災で被災した東北の人たちの見せた、我慢・忍耐・礼節の姿に世界中が驚き感動したと述べられました。さらに縄文時代の火炎土器を例に日本人の美意識の高さを示され、美とは神であり自然を神と崇めていた日本人は素晴らしい文化を持ち日本は文化大国だと、そして今後神道がますます注目されていくと述べられました。



津川先生に質問する柳原副会長

二日目の第三講では大高氏が「対日情報戦に備へよ！日本の誇りを取り戻さう」と題した講義を行いました。大高氏は従軍慰安婦問題について、当時の状況や、資料を説明した上で強制を否定し、日本を貶めるための、日本にたかるためのプロパガンダだと語られました。また、ナチスによるホロコーストを一部のユダヤ人により産業となつていく実例を示し、歴史認識問題には様々な思惑が蠢いている事を語られました。そして、中国韓国の情報操作にも拘わらず日本が諸外国から信用があるのは先人のおかげであると述べられました。

今回の研修会を通じ日本をとりまく状況を広い視野にて認識すると共に安全保障問題は危機的であると認識しました。先人が命懸けで守り伝えた日本、戦争を知らない世代が大半を占める時代、当たり前前の平和は無く、一人一人が諸問題に目を向け考えなければならぬと強く思いました。また、それぞれの地域にて声を広められる立場にある我々神職が先立ち先人と同じく命懸けで今成すべき事を成し、後の世に国土、国体をつなげるべく行動をしなければと思いました。



大高未貴先生

現状維持は衰退なり。共に研修へ参加し研鑽を積みましょう！

**第十二回
神道政治連盟時局対策連絡協議会
講演リポート**

平成二十六年二月二十四・二十五日、神道政治連盟時局対策連絡協議会が開催された。開講式で壇上に立たれた長曾我部延昭会長からは「ここで得たものをぜひ故郷に持ち帰って情報発信して欲しい」とのお言葉をいただいた。そこで今回は、情報発信の一つとして、当日行われた三人の先生方による講演の概要をリポートする。



神道政治連盟国会議員懇談会
会長代行 参議院議員
中曾根 弘文先生



神道政治連盟
長曾我部 延昭会長



神道政治連盟国会議員懇談会
副幹事長 参議院議員
ありむら 治子先生



神道政治連盟国会議員懇談会
副幹事長 参議院議員
山谷 えり子先生

【講演一】

元内閣官房副長官

石原 信雄先生



かについて解説いただいた。

石原先生の講演では、新憲法下で皇位の継承がどのように行われたか、そして河野談話がどのような背景のもとで発表された

し、当時の竹下内閣は「国民の統合の象徴である天皇の神聖と不可分であるのだから可能な限り本来の形で行うべき」という考えで進めたという。しかし、野党からのバッシング、法制局からは、伝統に則り大真櫛と鳥居を設置することに對し、「憲法（政教分離）に反する」と強い反対があり、事態は膠着。調整に調整を重ねた結果、まず皇室行事としての葬場殿の儀を行った後に一旦幕を引いて区切りをつけ、大真櫛と鳥居を撤去して国家行事としての大喪の礼を行うことと何とかが落ち着いた。

「葬場殿の儀は、大変厳かでした。参列したフランスのミッテラン大統領やアメリカのブッシュ大統領も『さすが伝統ある日

本の葬儀だ』と感銘を受けておられました」しかし、本来のあり方ではなくなった大喪の礼については、最後まで感想を述べられることはなかったという。

また、事務方のトップとして関わった河野談話については、先般の国会での証言同様、慰安婦強制連行の資料は見当たらなかったこと、韓国側からの要望で慰安婦の聞き取りを行ったこと、そしてその人選は韓国側が行ったこと等、先生のお立場で語りうる事実関係と経緯を解説いただいた。

【講演二】

高崎経済大学教授

八木 秀次先生



次に登壇された八木先生は、石原先生の講義を受けて開口一番次のように述べられた。

「今の官僚は『憲法ありき』になっていると言わざるを得ません。かつての官僚は、石原先生のように「日本古来のあり方を守るためにどうやって憲法の問題を乗り越えるか」という考えで事を進めたもの。しかし、今の官僚は違います。『憲法の中にどうやって皇室の諸問題を入れ込むか』を前提とし

て話を進めています。発想の根本が違うのです」

その上で、今上陛下の火葬に関するご発言について触れ、次のように述べられた。

「葬儀を簡素にといい陛下のお気持ちはありません」といえないのでしょうか。日本の天皇と国民の関係は、天皇は国民のことを想い、国民は天皇に尊崇の念を持つという相互関係にあります。自分の親で考えてみて欲しいのです。『私が死んだら葬儀は簡素にしてくれ』という親はたくさんいます。しかしそれを真に受ける子どもがいるでしょうか」

陛下のお言葉をそのまま受け入れ、政治的に利用しようとする官僚のあり方に疑問を呈された。

【講演二】

産経新聞政治部編集委員

阿比留 瑠比先生

二日目の阿比留先生の講演では、従軍慰安婦の聞き取り調査の問題点等についてお話いただいた。

自称従軍慰安婦側の団体「太平洋戦争犠牲者遺族会」は、従軍慰安婦の記事を書いた朝日新聞の植村記者の義理の母であること、

証言の内容も、事実と異なる内容が多いことを具体例を挙げて解説。日本の聞き取り調査以前に行われた韓国側の独自調査では、調査対象の自称従軍慰安婦四十一人のうち



二十一人は、嘘をついているとして対象から外している。しかし、日本の聞き取り調査対象の十六人は、この時外された二十一名の中から選ばれたという、許しがたい事実を、詳しく説明いただいた。

さらに阿比留先生は次のようにおっしゃった。
「今河野談話を見直ししても、残念ながら『日本は歴史修正主義だ』ということになります。これらを克服するには、まず日本が一体になること、国民のコンセンサスを得ることが大切です。政府が率先してやるのではなく、国会で超党派の検討チームを作ってそこに政府が資料を揃えて検討してもらうのが良いでしょう」

まず、国内での見直しの機運を高めることの重要性を強調された。

※写真提供…神社新報社

講演から見えたもの



愛媛県神道青年会 理事
八幡神社
禰宜 常磐井 守道

講演を拝聴して痛感したのは、時局問題に対する正しい認識を持つことの大切さは当然のことながら、国民一人ひとりが、現在に囚われない視座”を持つことが重要だということでした。

大きな観点で見れば、憲法はあくまで現在の国の方向性と社会を規定するもの。それより遥か上には古来より日本そのものを形作ってきた国柄や尊い伝統があります。日本人の価値判断の中にそれがしっかりと根付いていれば、憲法を金科玉条のごとく絶対視し、日本の伝統をその下に置こうとする愚に賛同する人はいなくなるでしょう。

また、河野談話の問題も、現状の政治状況を安定させるために相手に迎合した結果、日本を大きく貶める結果となりました。このような問題を再び起こさないためには、その時の政治状況やムードに左右されない、日本人としての主観的価値観を持つことが何よりの予防となると考えます。そして我々神職こそが、地域においてそういった価値観を醸成する役割を担う存在であり、青年神職はこれからの日本の将来に大きな責任を負っているとの想いを強く致しました。

神道青年全国協議会 創立六十五周年記念大会



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
龍王神社
権瀬宜 善家 祐二

平成二十六年四月二十二日、明治記念館に於いて「神道青年全国協議会 創立六十五周年記念大会」が開催され、愛媛県神道青年会より清家貞文会長を始め、役員九名と共に出席致しました。



ロバート・キャンベル先生

記念講演の講師には、メディア等でもご活躍されている、日本文学研究者、東京大学大学院教授であられるロバート・キャンベル先生のご講演がありました。ご自身の神社との関わり(地鎮祭・御神木について)を体



御来賓・神青協会員合わせて約 480 名が参加

国心や天皇尊崇の活動が広がる為の中心には神社神道があり、日本の地域に密着しているのが神社であり、その立場(神職)の人達が、文化や日本の豊かさや先輩が築き上げてきたものをグローバルに発信していくことを願われました。

記念式典には、高円宮妃殿下の御台臨を仰ぎ、神社本庁総長 田中恒清様、神宮大宮司

験談として話され、文学研究者の立場から、十九世紀(江戸後期)の明治初期)の漢文学を例に取り上げて当時の方々の思いの伝え方を紹介され、明治五年には愛



物故者慰霊祭も執り行われた

東日本大震災の支援活動に謝辞を頂戴し、お言葉の締めくくりには、神職として最大の務めは「祈り」であることをお示しいただきました。

記念表彰では、これまでの功績を称え愛媛県より長曾我部昭一郎先輩に第一号表彰、十亀博行先輩に第二号表彰が贈られました(表紙写真参照)。

記念祝賀会にも、高円宮妃殿下の御台臨を仰ぎ、全国より集いし青年神職と懇親を深めて、盛大な記念大会になったことをご報告申し上げます。



記念祝賀会の様子

鷹司尚武様を始め錚々たる方々に御臨席を賜わり、約四八〇名の参加者数になりました。畏くも、高円宮妃殿下より有り難いお言葉を賜り、その中には青年神職の継続的な

先輩方より受け継ぎしバトンをさらに大きくして次世代へ

それ行け！二足のわらじ
兼職会員インタビュー



File.02
伊曾乃神社（西条市）
権禰宜 高橋 政裕さん
職種 特別職公務員他

高橋さんは、神職以外に猟友会会員や、消防団員、山岳救助隊員として活動されるなど、さまざまな顔をお持ちですよ。他にも特別職の公務員として活動されているとお聞きしました。

高橋（以下高） はい。愛媛県特別職地方公務員、並びに環境省所属の特別職国家公務員として、それぞれの立場で鳥獣保護活動を行っています。

鳥獣保護とは具体的にはどのような活動をされるのですか？

高 特別職地方公務員としては、愛媛県鳥獣保護員として、鳥獣の生息数の調査や保護活動、さらに農水産物の被害状況の調査や、駆除許可に係る被害調査報告書の作成業務等を行っています。特別職国家公務員としては、国指定鳥獣保護区管理



保護活動にはかかせない身分証

員として、石鎚山系鳥獣保護区の保護活動を担当しています。

— どういったきっかけで鳥獣保護活動に従事するようになったのですか？

高 私が入会している猟友会の会長さんが、当神社の監事さんだったことが大きいですね。鳥獣保護員の活動には鳥以外に獣に関する知識も求められますから、猟友会に就任依頼が来ることが多いのです。当初はその監事さんや別の方が務めていらっしゃったのですが、後任にと推薦されたのです。

— そついつ御縁があったのですか。年間どのくらい活動されているのですか？

高 業務としては、それぞれ年間十六日、二十五日と定められていますが、実際は、いろんな依頼があり、一〜二時間の業務も含めると年間一〇〇日を超えます。

— 普段は社務もあるわけですよ？ 時間的なバランスはどうとらえているのですか？

高 例えば、イノシシ等による農作物被害などの連絡があり、現場に確認に行くときは出社前の早朝に調査に行きます。急を要する場合は、社



神社隣接地に仕掛けたワナを説明する高橋さん

務が終わったその日に行くこともありますね。結局、休みの日も山に行くことが多いのですが、その時は、子どもも一緒に連れて行きます。おかげで鳥好きな息子に育ちました（笑）。

— しかし、これだけ忙しいと引き受けないほうが良かったと思うこともあるのでは？

高 いえ。鳥獣保護は、野生動物の保護というだけでなく、駆除等を通して農水産物被害を防ぎ、人々の身の安全を守る大切な仕事です。地域の誰かがやらなければいけないわけですから、私は、その責任から逃れようとは思いません。

— 地域を守る、という責任感がないと続かないお仕事ですね。このお仕事は、神職としての活動にどう役立っていますか？

高 やはり地域の皆さんとの関係が密になったことでしょうか。例えば、兼務神社でお祭りの年に一度しかお会いしないのと、こつした活動で普段からお会いしているのでは、信頼関係が違います。連絡したいことやお願いしたいこともスムーズに進みます。本当に有難いことです。

— やはり、地域の方々と普段から信頼関係を深めておくことが大切ですね。本日はありがとうございました。《取材 常盤井 守道》

次は中予の会員を取材予定です。「あの人を取り上げて欲しい」、そんなリクエストお待ちしております！

平成二十五年度 会務報告

起 平成二十五年 四月 一日
至 平成二十六年 三月三十一日

平成二十五年
四月

八日

平成二十四年度会計監査会
(清家会長以下六名出席)

【伊豫豆比古命神社】

十一日

第一回 役員会
(清家会長以下十一名出席)

【厳島神社】

二十七日

神道青年全国協議会 第六十五回定例総会
(清家会長以下四名出席)

【神社本庁】

五月 三日

日本会議愛媛県本部 憲法講演会
(清家会長出席)

【ひめぎんホール】

二十日

日本会議愛媛県本部 第一回運営委員会
(善家理事代理出席)

【みゆき会館】

二十一日

中国五県青年神職協議会
神道青年四国地区協議会合同会

【岡山国際ホテル】

三十日

第二回 役員会
(清家会長以下九名出席)

【国際ホテル松山】

第四十二回 定時総会
《十亀庁長以下御来賓八名御出席》
(清家会長以下二十一名出席)

【全】

全 懇親会
(清家会長以下十九名出席)

【全】

六月 一日

会報「若竹・第六十号」発刊
神道青年四国地区協議会 第一回 役員会
(清家会長以下四名出席)

【徳島県】

十九日

第三回 役員会
(清家会長以下十名出席)

【厳島神社】

会員交流親睦会・中予
(清家会長以下二十四名出席)

【てんぐの隠れ家】

二十六日

愛媛県神社庁 第二回 定例協議委員会
(清家会長出席)

【神社庁】

七月 二日

北方領土返還要求愛媛県民会議 総会
(後藤副会長代理出席)

【東京第一ホテル松山】

五日

女子神職会 第二十五回 定時総会

【神社庁】

八月 十二日

第四回 役員会
(清家会長以下七名出席)

【八幡神社】

十九日

神道青年四国地区協議会
第十九回 定例総会並びに研修会
正式参拝

【天満宮】

二十日

定例総会
研修会『日本の書を学ぶ』
第一講「書の成り立ち」

【高知大学】

第二講「実践 書の造形」

【ザ・クラウンパレス新阪急高知】

講師 書家

北川 修久 先生

二十一日

会員交流親睦会・東予
(清家会長以下十三名出席)

【和民んち】

二十九日

神道青年全国協議会 夏期セミナー
『教育』 ～日本人の心を正しく伝える為に～
第一講「天皇陛下の御日常」

【神社本庁】

三十日

講師 宮内庁 式部官 飯塚 秀行 先生
第二講「天皇皇后両陛下のお人柄と皇室のいい話」
講師 皇室ジャーナリスト 高清水 有子 先生
第三講 皇居参観
(清家会長以下四名出席)

第三十一回 観月神楽の夕べ
(清家会長以下十三名出席)

【八幡浜市 鹿島神社 宮司 菊池 克幸様】

九月 六日

第四十九回総代会全国大会懇親会助勢
(清家会長以下四名出席)

【全日空ホテル】

九日

第四十九回総代会全国大会助勢
(清家会長以下十二名出席)

【ひめぎんホール】

十日

神道青年四国地区協議会
第十六回 神道行法錬成会
(清家会長以下十一名出席)

【愛媛県 石鎚神社】

十二日

神道青年四国地区協議会
第十六回 神道行法錬成会
(清家会長以下十一名出席)

【愛媛県 石鎚神社】

九月 六日

神道青年四国地区協議会
第十六回 神道行法錬成会
(清家会長以下十一名出席)

【愛媛県 石鎚神社】

九月 六日

神道青年四国地区協議会
第十六回 神道行法錬成会
(清家会長以下十一名出席)

【愛媛県 石鎚神社】

昨年度は会員親睦会を開催しましたが、今年度は祭式研修を行います！

十三日	神道青年四国地区協議会 第二回 役員会 (清家会長以下六名出席)	【西条国際ホテル】
十九日	建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会・日本会議愛媛県本部 合同運営委員会 (善家理事代理出席)	【みゆき会館】
二十七日	参拝啓発ポスター発送作業 (清家会長以下七名出席)	【和霊神社】
	第五回 役員会 (清家会長以下八名出席)	【全】
	会員交流親睦会・南予 (清家会長以下十六名出席)	【遊楽】
十月二十四日	第六回 役員会 (清家会長以下十名出席)	【伊豫豆比古命神社】
三十日	愛媛県神社庁 第二回 定例協議委員会 (清家会長出席)	【神社庁】
十一月二十五日	第七回 役員会 (清家会長以下八名出席)	【愛媛縣護國神社】
二十九日	三島森田両烈士追悼四十三周年慰霊祭 (後藤副会長以下九名奉仕 清家会長以下十七名参列)	【全】
	建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会総会 (清家会長出席)	【みゆき会館】
	会員交流親睦会・東中南予統一 (清家会長以下三十二名出席)	【茶蔵】
十二月 七日	神道青年四国地区協議会 第三回 役員会 (清家会長以下四名出席)	【香川県】
全	神道青年四国地区協議会 第九回親睦ボウリング大会 (清家会長以下四名出席)	【シーサイドボール高松】
十四日	拉致問題に関する啓発街頭パレード及び署名活動助勢 (清家会長以下六名出席)	【松山市駅坊ちゃん広場】
二十五日	日本会議四国ブロック前期理事会 (清家会長出席)	【国際ホテル松山】
平成二十六年 一月 一日 二十一日	会報「若竹・第六十一号」発行 年頭正式参拝	【愛媛縣護國神社】

全	(清家会長以下八名参拝)	【国際ホテル松山 パールの間】
全	第八回 役員会 (清家会長以下九名出席)	【全 離宮の間】
全	新年研修会 演題 「家訓づくりプログラム」 〜次世代に伝えたい大切なことば〜	
全	講師 十亀 博行 先生 《十亀庁長以下御来賓四名御出席》 (清家会長以下二十一名出席)	【全 ルビーの間】
全	新年互礼会 《十亀庁長以下御来賓十四名御出席》 (清家会長以下二十三名出席)	
二月 十八日	慰問神楽 (清家会長以下十五名出席)	【松山市 さくら幼稚園】
二十一日	第九回 役員会 (清家会長以下九名出席)	【吹揚神社】
二十六日	広島県青年神職会創立六十周年記念大会 (清家会長出席)	【オリエンタルホテル広島】
三月 六日	神道青年全国協議会 中央研修会 『国土と国体を守る』	【札幌パークホテル】
三月 七日	第一講 「日本の海を守る」 講師 東海大学教授・海洋問題研究家 山田 吉彦 先生	
	第二講 「日本の誇り」 講師 俳優 津川 雅彦 先生	
八日	第三講 「対日情報戦に備へよ！日本の誇りを取り戻さう」 講師 ジャーナリスト・キャスター 大高 未貴 先生 (清家会長以下十一名出席)	
	日本会議愛媛県本部 運営委員会・支部代表会議 (清家会長出席)	【みゆき会館】

皆様にご協力を賜り会務が遂行出来ました事に深謝致します。
会長 清家 貞文

愛媛県神道青年会 平成 25 年度一般会計歳入歳出決算書

歳入の部 自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日 単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	750,000	678,000	△72,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費他
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,304,000	1,754,000	450,000	県内神職寄付金・諸事業援助金
4 雑 収 入	241	37,000	36,759	文鎮・盛塩器代
5 繰 越 金	445,759	445,759	0	平成 24 年度より
歳入合計	2,700,000	3,114,759	414,759	

歳出の部 単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	600,000	554,820	△45,180	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研修教化	800,000	717,415	△82,585	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	150,900	△49,100	参拝啓発ポスター
4 広 報 費	300,000	325,095	25,095	若竹 60 号 / 61 号作製費及び発送費
5 事 務 費	120,000	129,858	9,858	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△10,000	
7 旅 費	250,000	250,000	0	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶 弔 費	50,000	80,000	30,000	慶弔費・電報代
9 分 担 費	280,000	288,000	8,000	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	0	△10,000	
12 予 備 費	30,000	0	△30,000	
歳出合計	2,700,000	2,546,088	△153,912	

歳入合計 **¥3,114,759** 歳出合計 **¥2,546,088** 差引残高 **¥568,671**

愛媛県神道青年会 会長 清家 貞文 提出
上記の通り相違ない事を認めます。

平成 26 年 4 月 7 日
監事 三輪田 尋道
監事 長曾我部 信弥

愛媛県神道青年会 平成 26 年度一般会計歳入歳出予算書

歳入の部 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日 単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	750,000	700,000	△50,000	年会費・定時総会々費・臨時総会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,304,000	1,431,000	127,000	県内神職寄付金
4 雑 収 入	241	329	88	預金利子他
5 繰 越 金	445,759	568,671	122,912	平成 25 年度より
歳入合計	2,700,000	2,900,000	200,000	

歳出の部 単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	600,000	610,000	10,000	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・臨時総会・監査会他
2 研修教化	800,000	700,000	△100,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	200,000	0	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広 報 費	300,000	550,000	250,000	若竹 62 号 / 63 号作製費及び発送費・HP 作製費
5 事 務 費	120,000	120,000	0	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	250,000	310,000	60,000	神青協定時総会 / 臨時総会・神青協役員旅費補助
8 慶 弔 費	50,000	50,000	0	慶弔費・電報代
9 分 担 費	280,000	280,000	0	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	10,000	0	
12 予 備 費	30,000	10,000	△20,000	
歳出合計	2,700,000	2,900,000	200,000	

歳入合計 **¥2,900,000** 歳出合計 **¥2,900,000** 差引残高 **¥0**

平成 26 年 4 月 11 日 愛媛県神道青年会役員会提出

今期メンバー最後の 1 年。今年度も全力で取り組みます！

平成二十六年 活動計画

四月 七日	平成二十五年度会計監査会	【伊豫豆比古命神社】
四月 十一日	第一回 役員会	【和霊神社】
四月 二十二日	神道青年全国協議会	
四月 二十三日	創立六十五周年記念大会	【明治記念館】
四月 二十三日	第六十六回定例総会	【神社本庁】
五月 十五日	神道青年四国地区協議会	
五月 十五日	第一回役員会・顧問会	【高知県】
五月 二十日	宗像大社御造営見学福岡研修旅行	【福岡県】
五月 二十一日	第二回 役員会	【国際ホテル松山】
五月 三十日	第四十三回 定時総会	【全】
六月 一日	会報「若竹・第六十二号」発行	
六月 七日	第三回 役員会	
六月 十三日	第四回 役員会	
六月 十三日	会員研修会(祭式) 中予地区	【伊豫豆比古命神社】
六月 二十三日	広島県青年神職会交流石鎚山登拝	【石鎚山】
六月 二十四日	神道青年四国地区協議会	
六月 七日	神道青年四国地区協議会	
六月 八日	第二十回 定例総会並びに研修会	【香川県】
六月 十七日	会員研修会(祭式) 東予地区	【石鎚神社】
六月 二十一日	神道青年全国協議会	
六月 二十二日	平成二十六年度 夏期セミナー	【神社本庁】
六月 三十日	会員研修会(祭式) 南予地区	【三島神社】
九月 四日	神道青年四国地区協議会	
九月 五日	第十七回 神道行法鍊成会	【徳島県】
九月 五日	神道青年四国地区協議会	
九月 五日	第二回 役員会	【全】
九月 下旬	参拝啓発ポスター発送作業	
九月 下旬	第五回 役員会	
九月 下旬	第三十二回 観月神楽の夕べ	
十月 下旬	第六回 役員会	
十一月 二十五日	第七回 役員会	
十一月 二十五日	三島森田両烈士追悼四十四周年慰霊祭	【愛媛県】
十二月 二日	合同親睦ボウリング大会	【愛媛県】
十二月 三日	神道青年四国地区協議会	
十二月 三日	第三回 役員会	【全】
十二月 三日	中国五県青年神職協議会	
十二月 三日	神道青年四国地区協議会	
十二月 三日	全	
一月 一日	会報「若竹・第六十三号」発行	
一月 一日	第八回 役員会	
一月 一日	臨時総会・新年研修会・新年互礼会	【国際ホテル松山】
二月 下旬	第九回 役員会	
三月 十七日	神道青年全国協議会	
三月 十七日	平成二十六年度 中央研修会	【和歌山県】
三月 十八日	第十回 役員会	
三月 下旬	愛媛県神道青年会ホームページリニューアル	
三月 下旬	慰問神楽	

男女不問！多くの会員の青年会活動参加をお待ちしております！

平成二十五年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いて戴いております

御助成

金:貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金:壹拾萬圓也

石鎚神社

十亀 興美 殿

金:伍萬圓也

大山祇神社

三島 喜徳 殿

金:參萬圓也

神社庁

新居 支部 殿

一宮神社

矢野 哲夫 殿

金:貳萬圓也

吹揚神社

田窪 久 殿

潮早神社

浅海 宜英 殿

金:壹萬伍仟圓也

今宮神社

佐藤伊都男 殿

石岡神社

越智 基晃 殿

金:壹萬圓也

三島神社

大西 元宣 殿

村山神社

榊田嘉津雄 殿

玉生八幡神社

平田 彰 殿

伊曾乃神社

井上千賀司 殿

嘉母神社

石川雅司郎 殿

榑本神社

石川 漠見 殿

橋新宮神社

高橋 佳幹 殿

周敷神社

井上 初美 殿

熊野神社

田邊 捷 殿

荒木八幡大神

松本 恒夫 殿

高尾神社

玉井 忠素 殿

大井八幡大神社

櫛部 浄文 殿

綾延神社

森 正康 殿

白山神社

大岡 益子 殿

萩岡神社

大岡 忠臣 殿

三嶋神社

越智 静治 殿

高浜八幡神社

龜山 和麿 殿

三島神社

垂水 隆昌 殿

須賀神社

藤原 豁博 殿

大島八幡神社

矢野 秀綱 殿

大浜八幡大神社

桧垣 壮次 殿

姫坂神社

沼崎 守文 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

生名八幡神社

沼崎 守文 殿

別宮大山祇神社

西村 純子 殿

堀江神社

高田 康成 殿

原八幡大神社

合田 千里 殿

金:八仟圓也

大西神社

矢野 敬陽 殿

金:伍仟圓也

喜多浦八幡大神神社

及川 徹也 殿

八幡大神社

馬越 祥穂 殿

奈良原神社

竹之内 紀久江 殿

八幡宮

合田 正士 殿

濱上神社

宮本 基 殿

橋八幡大神社

馬越 將文 殿

保内八幡神社

中島 佳代子 殿

碓掛天満宮

小池 清史 殿

金:參仟圓也

土居神社

矢野 耕一郎 殿

西條神社

塩出 崇 殿

弓削神社

川原啓三郎 殿

【中予】

金:壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部 延昭 殿

金:伍萬圓也

愛媛縣護國神社

小川 純生 殿

金:參萬圓也

神社庁

松山 支部 殿

金:貳萬參仟圓也

早虎神社

立野 好仁 殿

金:貳萬圓也

嚴島神社

柳原 宰 殿

金:壹萬圓也

桑原八幡神社

石丸 剛司 殿

還熊八幡神社

玉井 次明 殿

雄郡神社

高市 誠司 殿

正八幡神社

重松 讓 殿

青年会活動に御理解頂き、過分なる御厚意を頂戴致しましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。役員一同

八坂神社	三島神社	伊曾能神社	阿沼美神社	徳威三嶋宮	三島神社	金刀比羅神社	若宮八幡神社	住吉神社	神社庁	金:伍阡圓也	國津比古命神社	岡森神社	三島神社	松山神社	客王神社	金刀比羅神社	三嶋大明神社	伊豫稻荷神社	八幡神社	日尾八幡神社	日吉神社	井手神社	波賀部神社	高繩神社	勝岡八幡神社	忽那島八幡宮
都築芳憲殿	玉井貞臣殿	武市盛幸殿	大内將通殿	別府頼房殿	高市俊次殿	山下幸志殿	三好捷三殿	辻田正明殿	松山支部忽那島分会殿		井上忠史殿	寺谷秀彦殿	高市誠殿	正岡一男殿	二神良昌殿	大谷伸二殿	大内正人殿	星野暢廣殿	小野哲也殿	三輪田純殿	都子野清彦殿	横田貞子殿	武智彰宏殿	正岡重岩殿	武智輝子殿	大宮信篤殿

神社庁	金:壹萬圓也	三島神社	神社庁	金:貳萬圓也	八幡神社	神社庁	金:參萬圓也	和靈神社	金:七萬圓也	【南予】	素鷲神社	高家八幡神社	天満神社	金:參阡圓也	岡森神社	八幡神社	當田八幡神社	天一稻荷神社	氏之宮三嶋神社	天満神社	三島神社	朝日八幡神社	新田八幡神社	立石神社	新田神社	
宇和島支部宇和島市分会殿	田中清之殿	八西支部八幡浜分会殿	宇和支部殿	常磐井守興殿	三輪田元亮殿	新藤喜久子殿	都子野清明殿	水地明彦殿	桑原浅雄殿	田中良治殿	額田照彦殿	武智純二殿	綿崎祥子殿	武智成保殿	武智仁志殿	田内一弘殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿

三島神社	石鎚神社	金:壹萬圓也	湯嶋天神社	金:貳阡圓也	三島神社	金:壹阡圓也	大本神社	天満神社	春日神社	宗合神社	三島神社	神明神社	八幡神社	神明神社	賀茂神社	黄幡神社	大元神社	総社大明神社	神社庁
菊地宣之殿	十亀興美殿	愛媛県神社庁殿	菊池國興殿	横山和郎殿	大川實殿	宮本稚秋殿	宮田昭殿	末光剛殿	菊地宣之殿	氏本学殿	阿部康茂殿	宮本俊孝殿	上甲一則殿	青木武司殿	井上正博殿	森本隆夫殿	南宇和郡支部殿	南宇和郡支部殿	南宇和郡支部殿

第四十二回定時総会 御祝

殿島神社 柳原 幸 殿
 八幡神社 清家 貞宏 殿
 高忍日賣神社 後藤 正宜 殿
 多賀神社 久保 盛浩 殿
 伊豫豆比古命神社 長曾我部昭一郎 殿
 伊豫豆比古命神社 眞鍋 豊孝 殿
 金: 伍阡圓也
 井手神社 愛媛県女子神職会 殿
 横田 貞子 殿

第三十一回観月神楽の夕べ 御祝

金: 貳萬圓也 鹿島神社 菊池 克幸 殿
 金: 壹萬圓也 伊豫豆比古命神社 愛媛県神社庁 殿
 伊豫豆比古命神社 長曾我部延昭 殿

三島森田両烈士追悼四十三周年慰霊祭玉串料
 金: 壹萬圓也 愛媛祖國と青年の会 越智 敏雄 殿
 金: 伍阡圓也 横田 良勝 殿
 金: 參阡圓也 御縞こずえ 殿
 金: 壹阡圓也 青井美智子 殿

新年互礼会 御祝

金: 貳萬圓也 石鎚神社 十亀 興美 殿
 八幡神社 清家 貞宏 殿
 金: 壹萬圓也

神社庁 愛媛県神社庁 殿
 伊曾乃神社 松山 支部 殿
 殿島神社 井上千賀司 殿
 高忍日賣神社 柳原 幸 殿
 愛媛縣護國神社 後藤 正宜 殿
 綾延神社 小川 純生 殿
 早虎神社 森 正康 殿
 多賀神社 立野 好仁 殿
 櫛玉比売命神社 久保 盛浩 殿
 伊豫豆比古命神社 井上 貞人 殿
 伊豫豆比古命神社 長曾我部昭一郎 殿
 朝日八幡神社 眞鍋 豊孝 殿
 八幡神社 田内 一弘 殿
 三島神社 小野 哲也 殿
 石鎚神社 玉井 秀行 殿
 周敷神社 十亀 博行 殿
 金: 伍阡圓也 井上 初美 殿
 愛媛県女子神職会 殿
 御賛同の上御寄付を賜り深謝致します
 会長 清家 貞文

御礼

若竹六十一号で若竹バックナンバーの御寄付をお願いしましたところ、先輩方より現物の御寄付をいただくことができました。これにより、創刊号よりすべての若竹を確保することができました。厚く御礼申し上げます。

当会では、バックナンバーをすべてデータ化するとともに、現物を大切に永久保存して参ります。ご協力誠に有難う御座いました。

愛媛県神道青年会 会長 清家 貞文

【バックナンバー御寄付】

河内神社

宮司 渡邊 和敏 様
 十三号、二十五号、二十六号、二十八号、二十九号

石鎚神社

権宮司 武智 正人 様
 二十一、二十四号、二十七号、三十、三十四号

趣味人

第二回

〜神青会員のオフタイム〜

三島神社 (四国中央市)

欄宜 大西 元樹さん

夢中な趣味を持っている神青会員を取り上げるこのコーナー。今回紹介するのは、三島神社(四国中央市)欄宜の大西元樹さん。学生時代は自転車サークルに所属。今でも愛車のロードバイクで毎日のように出かけているという自転車好きだ。そんな大西さんの自転車ライフを紹介する。



愛車は FELT (フェルト) の「F75」

真っ白なボ

「自転車はペダルを漕いだ分だけ進む。そこが好きなんです」

ディに青いタイヤ。よく見るとヘルメットやペダルにも鮮やかな青いラインが入っている。大西さん本人がパーツを選び、好みの色や形にカスタマイズしたロードバイクだ。このこだわりの愛車で夕食後にちよっ

としたツーリングに出かけるのが毎日の日課となっている。

「田かけるといっても、最近はいり物ついでにほんの十キロ程度です。自転車に乗るために出かける理由を見つけているようなもので、とにかく乗っていることが楽しいんですよ」

買い物も長時間自転車に乗るためにあえて遠方の店を選ぶほど。近隣に自転車専門店がないため、神青の総会出席などで松山に行った際に、行きつけの自転車ショップでパーツを選ぶのも楽しみの一つだ。

自転車との本格的な出会いは大学生一年

生の時。國學院大學神道文化学部に入学後、神社関係以外の友人をつくらうと、サークルを探し、目にとまったのが自転車サークルだった。

「体育会系過ぎず、皆であちこちいけそうなのがいいなと思って入ったのですが、自分がここまで自転車好きになるとは思いませんでした」

入会後すぐにマウンテンバイクを買い、都内近郊を皆でツーリング。これが自転車ライフの原点となった。

「初めて遠出したのが千葉の海岸でした。風や海の二オイを感じながら自分のペース

で走れることがとても嬉しく、気持ちよかつたのを今でも覚えています。」



拝殿の前で

卒業後、神奈川県神奈川県の神社に奉職したが、そこは湘南海岸の近くという絶好のサイクリングスポット。社務が終わると、毎日のように海岸沿いをツーリングしていたという。氏子さん達からも「今日もお出かけい?」とよく声をかけられていたほどだ。

なぜそこまで自転車が好きなのか。大

西さんは言う。

「自転車は、ペダルを漕いだ分だけ進みます。逆に言えば、自分の力で漕いだ分だけしか進みません。うまく言えませんがそこがいいのです」

そんな大西さんのこれからのテーマは「サイクリング仲間を作る」こと。

「やっぱり皆で一緒に乗る方が楽しいですからね」

そう言うのはにかむ大西さん。現在、神社界でサイクリングの輪を広げようと密かに計画 중이다。

《取材 常磐井 守道》

「サイクリング仲間募集中です。いつでも声をかけてください!」 by 大西元樹

愛媛県神道青年会主催 会員研修会 (祭式) 開催決定!

兼職者でも参加しやすい土日の夕方開催!

7 月 13 日(日) 中予地区 会場:伊豫豆比古命神社 会館
講師:眞鍋 豊孝 先生

8 月 17 日(日) 東予地区 会場:石鎚神社 会館もしくは社務所
講師:十亀 博行 先生

8 月 30 日(土) 南予地区 会場:三島神社 (神領) 参籠殿
講師:吉田 充邦 先生

当会では、上記の 3 会場で会員対象の祭式研修会を開催します。先生方のご厚意により、これまで平日や日中の祭式講習に参加できなかった方でも参加できるよう、土日の夕方開催となっております。

「そもそも祭式講習で恥をかきたくない…」そんな思いで躊躇してきた人もいます。しかし聞くは一瞬の恥、聞かぬは一生の恥! 皆で大いに恥をかき、汗をかき、共に学びながら、作法をおさらいしましょう。

※研修会の内容詳細は、愛媛県神道青年会の HP で 6 月中に発表予定です。
お住まいの地域に関係なく、男女共、どの会場でも何度でも参加可能です。

《問い合わせ先》 愛媛県神道青年会事務局 (三津 巖島神社内)
TEL: 089-951-1471 FAX: 089-951-2220

人権侵害問題啓発パレード 参加報告



三島神社
瀬宜 大西 元樹
平成二十五年十二
月十四日、救う会愛
媛主催の人権侵害問

題啓発パレードに清家会長以下六名が参加させていただきました。当日は救う会愛媛の皆様をはじめ、師走の寒空のもと総勢五十名以上が参加し拉致被害者救出のためのパレードを行いました。

松山市駅前の坊ちゃん広場に集合し、皆で一緒に叫ぶスローガンの練習をした後、午後三時に出発し、銀天街からアーケードに沿って大街道一番町口まで約一時間かけて歩きました。土曜日ということもあってか商店街には多くの人がおり、関心を持た方が署名活動に協力してくださったり、チラシを持って帰られたりということが度々見受けられました。

平成十四年に北朝鮮の金正日が日本人を拉致していたことを認め、それから十二年が経とうとしています。拉致問題は他人事ではなく、国民一丸となって解決すべき問題であるということを広めることが大切だと、今回参加させていただき感じました。

「祭式のこと、ずいぶん忘れてしまった・・・」そんなアナタのための研修会です!

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介いたします。

大井八幡大神社 禰宜(元 理事)

櫛部 浄之 様

嚴島神社 禰宜

合田 慶守 様

肥海八幡神社 宮司

多和 祥栄 様

還熊八幡神社 禰宜

玉井 健次 様

稻荷神社 宮司

榊山 春明 様

和霊神社 禰宜

三瀬 典昭 様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜わりまして誠に有難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。今度も尚一層のご指導ご鞭撻を賜わります様お願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

神道青年四国地区協議会 行事案内

○第二十回定例総会・研修会

平成二十六年八月七日(木・赤口) 八日(金・先勝)

【会場】高松国際ホテル

○第十七回神道行法錬成会

平成二十六年九月四日(木・赤口)

【会場】白人神社(徳島県美馬市)

【講師】

徳島県神社庁錬成行事 道彦 建島 章生 先生

詳細につきましては、HP等にもお知らせして参ります。奮ってご参加下さい。

神道青年全国協議会

夏期セミナー 御案内

平成二十六年度神道青年全国協議会夏期セミナーが左記の日時に執り行われます。

【日時】

平成二十六年八月二十一日(木・友引) 八月二十二日(金・先負)

【会場】神社本庁

全国の同志と出会い、著名な先生方の貴重なお話が拝聴できるまたとない機会です。ぜひご参加下さい。

今号の秘蔵ショット!!



今年三月、北海道での神青協中央研修会に出席すべく前日入りした我ら愛媛神青の面々。せっかくの北海道ということと、カーリングを初体験！やってみるとこれが奥が深い。ストーンはまっすぐ滑らないし行き過ぎたり手前で止まったり。何よりストーンの前をブラシでゴシゴシ(スウィーピングというらしい)すると、距離の伸びが全く違うのです！二時間程度の体験でしたが、思う存分楽しみました。もちろん、遊びだけではありません。翌朝は北海道神宮を正式参拝し、気持ちを新たにして研修会に臨んだのでした。

広島県青年神職会交流 石鎚山登拝

七月に広島県青年神職会との交流会を実施いたします。今年と共に石鎚山を登拝し、頂上山荘で宿泊します。

【日時】

平成二十六年七月二十三日(水・友引)
七月二十四日(木・先負)

【内容】

一日目 石鎚山登拝・頂上山荘宿泊
二日目 下山・昼食(懇親会)・解散

近県の仲間との絆を深める絶好の機会です。奮ってご参加下さい。お問い合わせは事務局まで。
※申込期限 六月末

新入会員紹介

石鎚神社

出仕

湊 和樹

昭和五十五年十月十三日生



平成二十六年四月一日に、石鎚神社より出仕を拝命いたしました。

愛媛県西条市で生まれ、節目毎に御縁深い石鎚毘古命の御前で御報告させて頂いております。

是よりは愛媛県神道青年会会員の一人と致しまして、先輩方の後ろ姿を拝見し、伝統を引き継ぎ、新たな事に挑戦して行く所存です。

皆様の温かいご指導を賜ります様お願い申し上げます。

川上神社

出仕

野口 秀文

昭和五十八年八月二日生



昨年、神務実習として伊豫豆比古命神社にお世話になったことをきっかけに愛媛県神道青年会の活動に加わらせて頂いております。神明への奉仕を至重の使命にし、それに相応しい在り方を求めて近接に努める所存でございます。ご指導のほど宜しくお願い致します。

伊豫豆比古命神社

出仕

小笠原 義直

平成三年十一月十日生



皇學館大学を卒業し、四月より愛媛県の伊豫豆比古命神社に奉職させて頂くことになりました。現在は出仕という神職見習いの立場では御座いますが、先輩方から御指導頂いた事や先輩方の神職としての姿を見て学んだことを、自分のものにしていきたくと考えている所存で御座います。

また、神道の精神である「浄明正直」の精神並びに、先輩方が築きあげてきた伝統や意志を引き継ぎ、初心の心を忘れず先輩方のような神職になれるよう日々精進して御奉仕させて頂く所存であります。

まだまだ未熟で至らぬ点が多いかとは思いますが、どうか御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。